

# 令和元年 第5回（12月）吉川市議会定例会

## 一般質問通告書

12月11日（水）			
質問者			
通告第1号	8番	降旗 聡	
通告第2号	14番	五十嵐惠千子	
通告第3号	15番	互 金次郎	
通告第4号	13番	小野 潔	
通告第5号	17番	稻垣 茂行	
通告第6号	4番	松崎 誠	
通告第7号	11番	佐藤 清治	

12月12日（木）			
質問者			
通告第8号	3番	加藤 克明	
通告第9号	18番	齋藤 詔治	
通告第10号	7番	岩田 京子	
通告第11号	12番	小林 昭子	
通告第12号	6番	濱田 美弥	
通告第13号	1番	遠藤 義法	
通告第14号	16番	伊藤 正勝	

12月13日（金）			
質問者			
通告第15号	2番	雪田 きよみ	
通告第16号	20番	稲葉 剛治	
通告第17号	10番	妹尾 百合子	
通告第18号	9番	林 美希	
通告第19号	19番	戸田 馨	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第1号 8番 降旗 聡</p>	<p>独居高齢者の見守り活動について</p>	<p>近年、少子高齢化や核家族化の進展などの家族のあり方・社会構造の変化により、単身者世帯が増加しています。</p> <p>そうしたなか、この9月にも私の近所に住む独居高齢者がお亡くなりになり、発見まで数日がかかってしまいました。</p> <p>市のデータによると、1人世帯で亡くなられた65歳以上の方が、H28年度は135人、H29年度が138人、H30年度には175人となっています。亡くなられた場所（病院なのか自宅なのかなど）第1発見者などはデータの収集が特にないとのこと、わかりませんが、私の近所だけでも2年に1人の方が自宅で亡くなられ、第1発見者が近所の方や、週に1度乳酸菌飲料を自宅に届けていた方となっています。</p> <p>これからも、高齢者が自宅や住みなれた地域で自立し、安心して日常生活が継続できるよう、見守り活動の充実も必要であると考えます。</p> <p>また、H28年から事業化された「あんしん救急キット」は、70歳以上のひとり暮らしの方や重度の障がいをお持ちのひとり暮らしの方、その他準ずる方などに配布しています。</p> <p>これは、緊急連絡先やかかりつけの病院などを記載した医療情報記録用紙を専用ボトルに入れ、救急搬送が必要になったとき、救急隊員の情報収集の一助となり、速やかな搬送と情報連絡に役立てられており、利用者の安心につながっています。</p> <p>H30年度末現在で、配布人数が1538人、内準ずるものとして配布しているのが63人となっています。</p> <p>そこで、以下について市の考えを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1・自治会などで組織する高齢者見守り活動の推進について。</li> <li>2・あんしん救急キットの配布対象者の拡大について。</li> </ol>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>風水害対策の自主防衛強化に向けた公的支援拡充について</p>	<p>吉川市は江戸川と中川に挟まれた低地に位置しており、また中央には大場川と、いつでも被害が起こっても不思議ではありません。</p> <p>9月の台風15号、10月の台風19号は、各地で大きな被害をもたらした大きな爪痕を残していきました。</p> <p>台風19号では、吉川市でも約800人もの人が開設された避難所に避難をされました。しかし、避難所の収容人数も限られており、避難所への避難だけではなく垂直避難という判断も必要となります。</p>	<p>市長 担当課長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	風水害対策の自主防衛強化に向けた公的支援拡充について	<p>また、予想しきれない集中豪雨も多く、雨による浸水対策は地域や個人での対応が必要となってきています。</p> <p>各家庭で、浸水を防ぐための準備をするなど、自主的な防衛が必要となっています。</p> <p>そこで、以下について市の考えを伺います。</p> <p>1・浸水深が1メートルに達した場合、想定される被害件数と被害額、災害廃棄物の総量</p> <p>2・耐震改修補助制度もしくは住宅改修費補助事業に風水害対策を含むことについて</p>	市長 担当部長
(続) 通告第1号 8番 降旗 聡	スポーツができる環境の整備について	<p>スポーツ少年団の子どもたちやその保護者、健康の維持・増進や趣味としてスポーツを楽しむ多くの方々から、市内に「練習場所が欲しい」、「県大会を開催できるグラウンドがほしい」といった要望が多く寄せられています。市でも、総合運動公園について市長キャラバンを行いました。</p> <p>そこで以下についてお尋ねします。</p> <p>1・市民の皆さんから出された課題やアイデアについて。</p> <p>2・民間活力の活用について。</p>	市長 担当部長
	吉川団地のスーパー跡地について	<p>吉川団地内にあったスーパーが撤退し、半年余りが経ちます。団地に住まわれている方や周辺の方々から、「日常の買い物について、困っている」といった声が届けられています。</p> <p>そこで、吉川団地内で買い物ができる環境の現状と課題、今後の見通しについて伺います。</p>	市長 担当部長
通告第2号 14番 五十嵐恵千子	1. SDG s 吉川市の未来への取り組みは	<p>公明党吉川市議団は、国連が掲げる持続可能な開発目標 SDG s の「誰ひとり取り残さない社会」の実現に向けて、今年度の施政方針に対する代表質問や一般質問等の場においてSDG s を意識し、施策の推進に関する質問を重ねてきました。</p> <p>貧困・健康・福祉・教育・雇用と働き方・気候変動など17の目標を169のターゲットで具体化する国連 SDG s の基本理念は、私ども公明党の「一人の声を大切に」との基本理念と合致するもので、吉川市民の未来及び日常生活に大きく関係する大変重要な事と考えていますが、大都市と当市のような地方自治体とでは取り組みが大きく異なると思います。市長答弁では「SDG s の取り組みを進めていくためには、様々な分野の課題影響を幅広く見渡す能力が求められることから、SDG s に関する職員研修を新たに行い、SDG s を意識した政策立案に取り組む一歩目の年にしたいと考えます」と確認させていただいています。</p> <p>今年度もあと4か月となりましたので、取り組みの進捗状況についてお伺いします。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第2号 14番 五十嵐恵千子</p>	<p>2. 高齢者肺炎球菌ワクチンの更なる接種率向上を</p>	<p>肺炎は高齢になるほど重篤化しやすく、人口の高齢化に伴い年々死亡者も増加していることから、特に高齢者の死亡率が高い肺炎予防のためのワクチン定期接種については、公明党の地方議員と国会議員が連携し、ネットワーク力で2014年10月から開始されています。</p> <p>当市においても実施に向け、2014年6月議会、2015年9月議会一般質問にて、個人負担金の軽減や接種率の向上等について要望をさせていただきましたが、この5年間、毎年65歳から100歳までの5歳刻みで実施され、全ての対象者に接種の機会が与えられました。</p> <p>しかし、多くの自治体で接種率が伸び悩んだため、国は今年度から5年間の経過措置として延長することを決めました。</p> <p>厚労省の検討会では、「制度が十分に知られていないのではないか」という指摘も出ており、2019年1月11日に発表された厚労省の事務連絡には経過措置延長の決定通知とともに、更なる接種率向上のための取り組みを自治体に求める内容の記載も見られます。</p> <p>そこで、お伺いします。国の経過措置延長と更なる接種率向上の意向を受け、当市における更なる取り組みについてのお考えや方法等についてお聞かせください。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第3号 15番 互 金次郎</p>	<p>避難所指定を受けている小中学校体育館へのエアコン設置について</p>	<p>避難所指定を受けている小中学校体育館へのエアコン設置については、本年3月議会には代表質問にて「緊急防災・減災事業債」を活用し、体育館のエアコン設置も検討すべきと申し上げてまいりました。ご答弁として、「小・中学校体育館の空調設備の財源としての活用に当たりましては、使用が災害時のみに制限されていること、また、河川氾濫などによる水害時における避難所としての使用なども勘案した上で判断が必要」とのことでした。当該事業の近隣自治体の推進状況と、当市の現時点でのご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>電柱等に浸水深を表示し市民防災意識の高揚について</p>	<p>電柱等に浸水深を表示し市民防災意識の高揚について</p>	<p>本年3月に改訂された吉川市地域防災計画の第3編風水害対策計画には、啓発活動の推進として「洪水ハザードマップを作成し、市民に周知」とありました。さらに、過去の災害教訓の周知という項目もありました。災害情報の可視化は、大変重要と考えます。電柱等に浸水深を表示し市民の防災意識の高揚を図ってはと考えますが、ご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>防災ラジオの導入について</p>	<p>防災ラジオの導入について</p>	<p>台風19号襲来時の10月12日23：30分、市内一部地域に避難勧告が発令されましたが、暴風雨の為、防災無線が聞き取れなかったとの声を多くの方からいただきました。情報が届きにくい高齢者等の災害弱者に、より確実に緊急情報を届けるために防災ラジオの導入を検討してはと考えますが、ご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>「市民交流センターおあしす」に「ストリートピアノ」を設置し、市民文化の交流・推進を</p>	<p>近年、駅、空港、商業施設等に設置され、誰もが自由に演奏することができるピアノ、いわゆる「ストリートピアノ」が、音楽を通した市民文化交流の場として広がりを見せています。</p> <p>当市におきましても、「市民交流センターおあしす」のは一とふる・ぽっと跡の当該施設を活用し、「ストリートピアノ」事業を展開し、市民文化の交流・推進を図ってはと考えていますが、ご見解をお伺いします。</p>	<p>教育長 担当部長</p>
<p>(続) 通告第3号 15番 互 金次郎</p>	<p>吉川団地内スーパーマーケット閉店後の買い物施設の誘致について</p>	<p>本年4月7日、吉川団地内のスーパーマーケットが閉店しました。1,914戸を数える UR 吉川団地は、高齢化が進み一人暮らしの方が増えるなど、地域外への買い物が困難な方は少なくありません。</p> <p>いつ後継のスーパーが参入できるのかは大変大きな問題であり、先の見えない状況は住民にとって大きな不安でした。</p> <p>私ども、公明党市議団は、ネットワークを駆使し先月の15日、都市再生機構 国会連絡班より「後継事業者は決定、来年度中には開店、当該情報の提供は可」との情報を得ました。</p> <p>先の見えない状況から大きく進展し、当該住民の大いなる希望となります。この、情報が確実なものかどうか、市当局との情報の整合性を確認すべきと考え、ご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第4号 13番 小野 潔</p>	<p>吉川駅北口駅前のムクドリ対策について</p>	<p>吉川駅北口周辺地域にお住まいの方々より「駅前に飛来するムクドリが大群で、大量の糞に悩まされている、通勤通学に多くの方が利用する吉川駅、吉川の顔である駅前である、どうにかならないか」、との声を多く頂いております。このムクドリ対策は長い年月をかけ様々な対策を取られてきた事と思います、そこでお伺い致します。</p> <p>①今までに取られてきた対策、効果、課題、今後について</p> <p>②対策の一つとして北口駅前の電柱を無電柱化してムクドリがとまれない様にしてはと考えていますがいかがですか。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	コミュニティ・スクールの推進について	平成 28 年 12 月議会に於いて「コミュニティ・スクール（学校、保護者、地域住民等からなる学校運営協議会を設置する事）の推進について」一般質問で取り上げさせて頂きました。教育長のご答弁としては「先行して推進をしている地域の成果と課題を把握・分析し、導入に向けて準備をすすめているところでございます」とありました。そこでお伺い致します、埼玉県での導入状況と先行している地域の成果と課題をどの様に把握・分析されたのか、また当市での導入に向けての進捗状況についてお聞かせ下さい。	教育長 担当部長
(続) 通告第 4 号 13 番 小野 潔	幼児教育・保育の無償化について	<p>未来の宝である子どもたちを、社会全体で育てていくとの事から幼児教育・保育の無償化が 10 月より開始し、約 2 ヶ月余りが経過いたしました。公明党では 11 月 11 日より 12 月中旬まで実態調査運動を展開しております、事業所の方、利用者の保護者・家族より様々声を頂いております、そこで何点かお伺い致します。</p> <p>①幼児教育・保育の無償化開始から事業所、利用者から当市にも色々な声、意見、要望等が寄せられている事と思います。どの様な声が寄せられているかお聞かせ下さい。</p> <p>②保育の質、待機児童の状況、保育士の確保の状況について</p> <p>③無償化の対象にならない「幼稚園類似施設」について</p> <p>ア当市ではこのような対象とならない「幼稚園類似施設」はありますか。</p> <p>イ当市在住で他市の「幼稚園類似施設」へ通園している児童の状況をお聞かせ下さい。</p> <p>ウ「幼稚園類似施設」へ通園している児童への無償化に伴う当市の対応についてお聞かせ下さい。</p>	市長 担当部長
通告第 5 号 17 番 稲垣 茂行	おあしす「はーとふる・ぽっと」跡の利活用を	『市民の財産である施設「おあしす」元「はーとふる・ぽっと」営業店舗跡を市民のために開放することを求めるための請願書』が 2, 000 余名の署名を添えて、提出されました。市民の憩いの場として利用されていた「はーとふる・ぽっと」が閉店して一年半が過ぎました。この間、おあしす利用者や来庁された市民は、お茶を飲んだり食事をする場所がなく困っています。市民に一部開放された庁舎 3 階の「職員休憩室」は利用制限もあり、使いづらく代替施設としての機能を果たしているとは言えません。市は、『はーとふる・ぽっと跡』の利活用について、議会からの再三の要請にも応えず放置しています。 <p>改めて、これまでの市の対応と今後について伺います。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) おあしす「はーとふる・ぽっと」 跡の利活用を	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「次年度以降に検討する」として、頑なに何もせず放置している理由、根拠は</li> <li>2 市民の利便性を無視し、困っている現状をどう捉えているのか</li> <li>3 行政の不作为であり私物化とも考えられるが、どのように認識されているのか</li> <li>4 今後、どのように対応されるのか</li> </ol>	市長 担当部長
(続) 通告第5号 17番 稲垣 茂行	「治水対策」について	<p>「まちづくり」の最も基本的な政策の一つである「治水対策」について伺います。</p> <p>これまで数10年にわたり、吉川駅北口駅前地区（第1排水区）及び南中学校周辺地区（上第二大場川上流域）内の住民は「内水被害」に苦しんできました。また、通勤・通学等で吉川駅を利用する市民も同様です。</p> <p>北口駅前地区については現在、「木売落し」二層化による対策が調査、検討されています。2019年3月には「木売落し構造断面検討委託業務」の報告書が出され、概算事業費の大幅増加や国庫補助を受けるための課題等が明らかとなりました。</p> <p>南中学校周辺地区は、「調整池」の必要性が確認されましたが具体的な検討には至っていません。そこで、この2地区の「治水対策」の現状と課題、今後の方向性、計画について提案を交え質問いたします。</p> <p><b>【北口駅前地区】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「木売落し構造断面検討委託業務」報告書の具体的内容と課題</li> <li>2 概算事業費58億円は、どの程度削減できたのか。削減内容（設備・工事等）と金額</li> <li>3 国庫補助導入基準の費用対便益の数値とそれぞれの金額は（現状）</li> <li>4 「大型ポンプ」の見直しは、事業費削減につながると考えられるが、貯留雨水の排出量と降雨量との関係の中でどう判断するのか</li> <li>5 排水区変更の可能性</li> <li>6 「木売落し」二層化以外の手法、対策等の検討状況</li> </ol> <p><b>【南中学校周辺地区】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 過去5年の水害関連対策の内容と効果</li> <li>2 土砂等堆積量調査（430か所）の内容及び実施対策</li> <li>3 「調整池」の研究・検討状況。貯水量47,000立方メートルの根拠及び必要とされる用地面積</li> <li>4 市街化調整地内での「調整池」整備の可能性</li> <li>5 「調整池」の整備事業化を決定する目途</li> </ol>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第6号 4番 松崎 誠</p>	<p>安全安心のまちづくりについて</p>	<p>1. 越谷総合公園川藤線(3・4・51号線)の整備促進と中川の堤防整備事業について 道路を整備するということは、社会、日常生活上、また、経済産業の振興にも重要なことであります。都市計画の中心をなしている道路計画は、まちづくりに大きく影響するとも言われています。快適な道路網の充実において、本市の都市計画道路17路線の整備が進められておりますが、整備が進まない路線が何本かあります。その一つに越谷総合公園川藤線があり東埼玉道路の整備促進が進む中、東埼玉道路から新川橋まで、幹線道路の円滑な交通が望まれています。早期の整備促進をお願いしたいと思います。</p> <p>また、中川の堤防整備事業については平成26年度には、堤防の新設工事がほぼ完了しました。旧堤防撤去後の河川敷について、地元から有効利用が望まれています。そこでお伺いします。</p> <p>①東埼玉道路から新川橋までの道路整備の促進は ②新川橋の橋の架け替えは ③旧堤防の撤去時期と河川敷の利活用は</p> <p>2. 河川防災ステーションの整備について 洪水などによる被害を最小限にするため、災害時の緊急復旧に必要な資材の備蓄、作業スペース、ヘリポート、水防センター等を配備し、迅速かつ円滑な復旧活動を行うための拠点(河川防災ステーション)の整備が進められています。</p> <p>そこでお伺いします。</p> <p>①災害時における水防センターの避難所としての機能の在り方は ②7月に開催された地元説明会での意見の内容は</p>	<p>担当部長</p>
<p>通告第7号 11番 佐藤 清治</p>	<p>美南小大規模対策について</p>	<p>○私は美南小の大規模対策のため中曽根小との分離を求めてきた。 6月議会では6月の教育委員会で規則改正案をだし、承認後の7日に美南小入学予定者全員に規則改正の内容とあわせ学校選択」の際の参考になるよう美南小、中曽根小の学校公開日を設け10月には選択後の入学通知書を発送する予定と答えているが、この間の具体的な動きについて伺います。</p> <p>○通学班は5人以下とならないようにと答えているが現状はどうか。 ○現在の段階では何名が中曽根小への移動を希望をしているのか。 ○教育委員会はこれまで慎重な対応をしてきたが変更の理由は何か。</p>	<p>教育長 担当部長</p>



質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第7号 11番 佐藤 清治	美南小の通学路対策について	○駅西口、ケーズ電気前のスクランブル交差点について3回にわたって取り上げてきた。 ○スクランブル交差点になって良かったの声が出されている。朝の通学時間だけ信号を長くしてもらえないかとの声が出されているが、どのように対応するのか伺います。	教育長 担当部長
	校舎の雨漏り対策は	○学校訪問の際に校舎の雨漏りについて話を聞いたが、現状と対策について伺います。	教育長 担当部長
	駅南二郷半緑道について	○緑道への出入口が少なく、もっと増やして欲しいとの声が寄せられているが対応について伺います。 ○用水路からの越水対策について市として対策を求めてきた。 市も対策を講じるとしてきたが、どのような対策を行ったのか。 今後の取り組みについて伺います。	担当部長
通告第8号 3番 加藤 克明	令和元年10月台風19号の対応について	気象庁では、今回の台風が数十年に一度の大型台風であることから早め早めの情報発信をしてきました。 この現状を踏まえ、吉川市では、どの様に情報を発信し、対応をされたのか。 また、避難所開設に向けて、どの様な対応をされたか。	市長 担当部長
通告第9号 18番 齋藤 詔治	ALS(筋委縮性側索硬化症)患者に対する重度訪問介護提供への市の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年4月にALS患者の弁護団が埼玉県庁で記者会見を行い、市職員の不適切な発言に対し、マスコミにより広く報道がなされました。その後の患者への対応をお伺いいたします。</li> <li>・現在市内に、神経が侵されて筋肉が徐々に動かなくなる難病を患っていて、重度訪問介護支給がされている患者数は、また月に何時間の支給が認められているのか、その支給額をお伺いいたします。</li> <li>・24時間介護を受入れた場合の支給額をお伺いいたします。</li> <li>・介護者に対する生活環境への配慮は如何なされているのか。</li> <li>・今後、市として24時間重度訪問介護支給の考えは。</li> </ul>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	旧庁舎跡地の地盤・地質調査の進捗状況及び内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉川市庁舎建設基金条例廃止に伴い「付帯意見」として基金の意向にあたっては、「地域住民の安心・安全の確保と跡地利用の支障とならないよう、地盤・地質調査の検討を行うこと。」が本年9月議会にて可決されましたが、その後の進捗状況及び内容は。</li> </ul>	市長 担当部長
	三輪野江地区「道の駅・農業パーク」構想事業推進について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三輪野江地区の開発地は何処に決定するのか。</li> <li>・開発規模をどの様に考えているのか。</li> <li>・地権者の皆さんとの合意形成は得られているのか。</li> <li>・既に農水省や経産省との連携による事業推進を目指しているとの事ですが、開発の方向性は決定しているのか。</li> <li>・いつから実施し、完成までの期間は。</li> <li>・土地所有者の資産運用として、土地の売買・土地の賃貸借等、どのように考えているのか。また土地価格の提示・決定はどのようにするのか。</li> </ul>	市長 担当部長
(続) 通告第9号 18番 齋藤 詔治	吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業、産業ゾーン第1回競争入札について	<p>産業ゾーンにおける第1回事業社募集概要内容</p> <p>◎募集業種 食料品製造業における工場等の単独又は複合用途</p> <p>◎募集画地面積及び最低売買価格 1画地、7000㎡、742百万円 ・ 2画地、7000㎡、728百万円</p> <p>◎主な募集条件</p> <p>「事業計画の条件」 ・ 工場見学機能を備えた施設であること ・ 地域貢献に資する提案があること</p> <p>「建築の条件」 ・ 土地引渡の日から3年以内に建物を着工すること</p> <p>◎主な審査項目 ・ 工場見学機能の魅力度評価・地域貢献策の充実評価(地元雇用計画含む)・事業計画評価・施設計画評価(環境、景観、交通等)・価格評価</p> <p>◎企業選定スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申込み受付期間 9/24～9/27 ・ 第1次審査 10月中旬頃</li> <li>・ 第2次審査 11月中旬頃 ・ 優先交渉権者決定 12月上旬頃</li> <li>・ 基本協定書締結 令和2年2月下旬頃 ・ 土地売買契約締結5月頃</li> </ul> <p>※上記の概要内容の申込みは、2区画のうち1区画1社のみと聞いているが、この状況をどのように受け止めたか。また今後の対応は。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第10号 7番 岩田 京子	市民が樹木に親しみ、恩恵にあやかるための施策を	<p>20年前につくった環境保全指針策定後、国の環境基本計画が3回、吉川市の総合振興計画が2回改正され、温暖化や生物多様性など新たな法律や制度ができていても拘わらず、20年間そのままになってきました。遂にその総括にはいり、見直しの準備にはいりました。市の環境に対する姿勢はかなり消極的ともとれますが、市民は自然環境に対する評価が高く、市民意識調査で毎年吉川市の住み良い所として「自然環境の多いところ」がトップとなっています。市民のニーズ、現状をしっかりと踏まえ、吉川市の良さを伸ばす努力が必要と思います。また全国的には森林環境譲与税が導入され、日本の森林に対する再構築が目指されているところです。吉川市民がより「樹木」に親しみ、恩恵にあやかるために市の見解をお聞かせ願いたい。</p> <p>① 市はどう自然を維持し、市民に親しんでもらおうと考えているのか。</p> <p>② 吉川市の自然を親しむために街路樹や公園の樹木にネームプレートをつけてはいいか。</p> <p>③ 森林環境譲与税の今年度の使い道と次年度以降の計画は。啓発や木育などソフト的な運用についてはどのように考えているのか。</p> <p>④ 森林環境譲与税の目的に沿った使い方をするための「環境保全基金(仮)」の創設についての見解。</p>	市長 教育長 担当部長
	より安心・安全な避難体制づくりに向けて	<p>1 今回台風19号にあたりましては、222名の職員が対応され、心より感謝申し上げます。794名331世帯の市民という今までにない人数を受け入れた避難所開設において、課題も見えたと思います。職員・市民、より多くの方々とその課題を共有することで、今後、頻発するであろう豪雨に対して、自助、共助・公助の心構えにもつながりますので、質問させていただきます。</p> <p>① 今回の避難所開設・運営にあたり成果と課題。</p> <p>② 吉川市地域防災計画の中に避難所運営マニュアルについての記載があるが、整備されているのか。</p> <p>③ 今回、開設に当たった職員の中で、避難所運営開設ゲーム(HUG)の経験者はいたのか。</p> <p>④ 8カ所の避難所開設。それ以上の避難所の開設は可能だったのか。</p> <p>⑤ 避難者の避難所からの帰宅状況(時間など)。</p> <p>⑥ 本部と現場との連絡体制。</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続)  通告第10号  7番  岩田 京子</p>	<p>(続)  より安心・安全な避難体制づくりに向けて</p>	<p>⑦ 協定を結んでいた事業所との連携は。  ⑧ 情報発信について (防災無線・HPなど)。  2 自主防災組織について  ① 避難エリアの自主防災組織はどのように機能したのか。  ② 自主防災組織の女性の比率について。  ③ 自主防災組織に対する市の責務は。  ④ 平成25年に改定した災害対策基本法で示された地区防災計画の進捗。  3 避難行動要支援者 (以下要支援者) について  ① 要支援者の名簿の更新はできていたのか。今回の対象は何名で、そのリストは誰が把握しているのか。  ② 個別支援計画はどこまでできているのか。  ③ 要支援者へ対応は。誰がどのようにしたのか。  ④ 福祉避難所が指定避難所と同時開設されているが、本来の開設のタイミングについて。  ⑤ 福祉避難所は要配慮者が入るわけだが、どのような特別な配慮ができるのか。支援者はいたのか。一般の人も入れるのか。  ⑥ 民間施設との訓練をしているが、実際に協定を結んで、福祉避難所となっているのか。また、かかった費用のこと等取り決めしているのか。  4 非常用電源について  避難時には家族や知人との連絡手段が欲しい。各個人の携帯やスマホの充電のための電源確保が必要。購入時に補助を出すことで蓄電池や電気自動車等を災害時に地域に提供することなどを促したらいかがか。  5 地域コミュニティの大切さについて  地域で人が繋がることは防災にも役立つ。人とつながる最もよい機会は子育てである。学校のクラス名簿の件を以前も質問したが、PTAの反応はいかがだったのか。今年も話題にしているのか。</p>	<p>市長  教育長  担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第10号 7番 岩田 京子	市民が市政に参加できる機会を逃さないために	審議会などの開催の告知は、吉川市市民参画条例第12条で開催日時・場所・議題などを事前に公表するものと定められている。しかし、近年、HPに掲載されず、もしくは前日などに告知される審議会などが見受けられる。審議会の開催の告知、また議事録の掲載はいつ頃を目安にしているのか。	市長 教育長 担当部長
通告11号 12番 小林 昭子	1、上第二大場川の改修	近年毎年繰り返される台風時等の豪雨災害に、市内を流れる身近な河川にも大きな関心が寄せられている。市内大場川はようやく河川改修工事が市民にも把握できる状況となってきたが、保を中心とする地域に於いては大雨時の浸水対策として、上第二大場川への十分な水量を確保する事が求められており、対応に関心が高まっている。今後の見通しについて。	市長 担当部長
	2、農業パークか、道の駅か、千葉大学包括支援協定か、市街化調整区域のまちづくり基本方針の作成を	市長は、道の駅構想を示し広報している。以前は農業パークなどを絵に描き広報している。市民にとってはこのような広報の仕方では、受け取りも様々で地域づくりのイメージも個々人の想像にも任せられてしまい、よいまちづくり手法とは言えないと考える。1歩ずつ住民の共感を共有できる地域づくりを進める事が肝要です。「千葉大学との包括支援協定」で進む地域づくり、市長が広報している公園や、道の駅構想を市としての統一した見解、今後どのような計画の中に示していくのかを市民に示していただきたい。担当部長と、市長それぞれの立場から答弁を。地域住民にわかりやすい街づくりにする為に「市街化調整区域のまちづくり基本方針」方式の検討をすべき。	市長 担当部長
	3、生活道路、水路の要望は大事に	生活道路、水路の要望は大事に。そこには日々の働く人の、農業を担う人の、生活者の声が濃縮されているからです。 ①大場川の河川改修に伴い、今年三郷市との境にある橋の改修について契約された3月議会で答弁をお聞きしましたがその内容について。当地域の橋から続く市道が狭く以前より拡幅の要望が出されているが、市道の拡幅はされるのか。 ②市道拡幅工事は採納協力が前提になっている事が多いが、必要に応じては買収方式で道路整備を行うべきでは。①の市道、サンフィールド東2-435(市道が急に狭くなって危険)、東中学校東3-408(県道側)の道路補修。 ③開発検討地域内の市道管理の徹底を。3-367 舗装。④農道(市道)の蒲鉾道が多く見受けられる。3-688(大字三輪野江)の舗装の改修を。⑤水路-三輪野江((2268-5 地先)新田用水~新きぼり)。中島(2-92 地先)。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第11号 12番 小林 昭子</p>	<p>4、市平和事業と市の「非核・平和都市宣言」を提案する</p>	<p>吉川市は2008年、平和の願いを結集し「吉川市平和都市宣言」を議会決議のもと制定し、毎年平和事業にも取り組んでいます。年が明けると、戦後75年目を迎えます。私も、戦争を体験していない年代で、子どもの頃から戦争とか、平和をあまり意識せずに過ごしてきました。しかし、歳をとるごとに過去の戦争の歴史を学び平和を次世代に伝えていく事の大事さと大変さを実感しています。戦争の歴史は何年経っても古くなることはなく、とりわけ、広島、長崎に人類初の原爆が投下された唯一の被爆国としての役割は大きいものがあります。11月23日ローマ教皇が来日し、爆心地から世界へ向けて「核兵器廃絶」を発信しました。あらためて非核の願いをこめ、わが市での「吉川平和都市宣言」に「非核」を加えて「吉川市非核・平和都市宣言」とする事を提案したいと思います。見解を。また、11月全国首長9条の会が発足しました。市長も是非参加いただき更なる平和事業の充実に取り組んでいただきたいと考えるが見解を。今までも、平和大使派遣事業や、折鶴体験、平和作文等提案してきましたが、市の今後の平和事業の取り組みについて伺います。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>通告第12号 6番 濱田 美弥</p>	<p>吉川の農作物などについて 「米」「作物」「なまず」</p>	<p>昨年視察した「なめがたファーマーズビレッジ」、先日視察した「朝日里山ファーム」それぞれ地域の特性を活かした活動をされていた。吉川でも無理をせずに手に入るものでアピールしていくのが良いと考える。</p> <p>また、農業行政と教育行政が吉川の良さを活かし協力していく方策を行って頂きたいと考え、伺っていく。</p> <p>①現在、吉川で作られる米の収穫量・売上はどのくらいか。 ②近隣自治体の米の収穫量はどのくらいか。 ③作られる米の種類はどのようなものがどのくらいの割合であるか。 ④市の耕作可能地に対して耕作放棄地の割合はどのくらいか。 ⑤市内で作られる米以外の作物の種類にはどのようなものがどの割合であるか。上位3位のそれぞれの収穫量・売上は。 ⑥現在市内で米の加工品はどのようなものがあるか。種類は。また、自前の加工工場はあるか。近隣にはあるか。 ⑦吉川のナマズ、現在は養殖のみか。養殖の出荷量と売上はどのくらいか。 ⑧先日学校で行われたなまズの解剖にはどこのナマズを使用したか。子どもたちの反応はどのようなものだったか。</p>	<p>教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第12号 6番 濱田 美弥	米の可能性について	米の食料自給率は年々下がっている。吉川の米のアピールについて伺う。 ①有機農業米の価値についてどのようにお考えか。市内で取り組まれている事例は。単価の違いは。 ②米の加工品、米粉について。米粉の活用は米粉パン・甘酒・ライスマルク、「クッキー、ケーキ、カステラ」などの洋菓子・うどんなどの「米粉麺」や「ビーフン」・「からあげ粉」や「天ぷら粉」など多様であり、アレルギー対策としても活用されている。市内での取り扱いは。 ③収穫後の稲の活用について、市内での取り組み事例は。 ④他市で新生児に新米のプレゼント、という取り組みがある。吉川でも新生児誕生に「新生児の体重と同じコメをナマズのぬいぐるみに入れてプレゼント」してはいかがか。また、転入者に対して「ウェルカム米」として吉川の米の試食を渡す取り組みはいかがか。 ⑤地域と企業とJAが一丸になった体験型農業テーマパーク「なめがたファーマーズヴィレッジ」、北海道「ライスランドふかがわ」などの取り組みを参考に「水辺の吉川 米 ナマズ」の米のテーマパークを考えては。体験稲作・田んぼドッジボール・田んぼで遊ぼう・生物の観察・ザリガニ釣り・小中学校の体験教室実施も。近隣から宿泊も可能な施設に。吉川の自然をアピール・川の怖さ、恵みなども学習できる施設に。	教育長 担当部長
	吉川のナマズについて	①「美しい水辺再生の目標のマスコット」としてのナマズとしてはいかがか。 ②解剖だけでなく、ナマズの生態観察、どうやったら自然にナマズなどの育つ環境に出来るのか、小中高校生まで縦割りで一緒に研究、生物の好きな子どもたちをさらに伸ばす研究部の設置は。 ③ナマズ周知グッズとしてナマズの防災リュックなどはいかがか。	教育長 担当部長
	吉川の作物について 「小松菜・ネギ」等を活用した 駅前活性化について	吉川でよく作られている小松菜・ネギ等の活用について伺う。 ①昨今の健康志向に合わせて駅前のラッピーランドでスープスタンドを。 よしかわの方々の健康維持のため、小松菜他季節の野菜の味噌汁・シチューなど。吉川の米の甘酒・ライスマルク・玄米コーヒー販売。他にもトマトジュース・トマトスープなど朝と夕方に吉川の野菜の試食を兼ねて。 よしかわの小松菜。市場に出せないものを利用してグリーンスムージー バナナ・リンゴなどを入れて。冷凍保存が効く。ネギも吉川のごま油も使ってネギ油の製造を。	教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) 吉川の作物について 「小松菜・ネギ」等を活用した 駅前の活性化について	ネギの保存も出来る。ネギ油を使って吉川の食材だけでラーメンを作る事も可能との事。ラッピーランドを拡充して駅前活性化には。	教育長 担当部長
(続) 通告第12号 6番 濱田 美弥	吉川の作物について 「フルーツの可能性」	<p>①吉川ではかんきつ類・ブドウなどのフルーツが生育している様子もよく見られる。吉川で育てられるフルーツの種類を様々お示し頂きたい。また、生育は難しいフルーツをお示し頂きたい。</p> <p>②温暖で肥沃な土地で可能性が多い。1種類だけでなく様々なものを作るのが気候の変動の危険回避にもなる。休耕地や放棄地などを活用し、様々なフルーツの作付の推奨としては。</p> <p>③農林水産省は1日200グラムのフルーツの摂取を呼びかけている。吉川産のフルーツでフルーツパーラーを。フルーツパフェ・フルーツタルト・ジェラートなども。ハーブティーも出来る。市内で吉川のフルーツを使ったカフェなどの取り組みの可能性は。</p> <p>④おあしすも殺風景で味気ない。はーとふるぼっと跡地を、使い方は市民の意見を聞きながら、会議室としたり飲食スペースにしたり、飲食店の誘致を行ったりすべきだが、サンルームとして吉川のフルーツをアピールできるような植栽を行っては？プランターなどで行えば土の汚れも少なく、管理も容易である。中庭にもブドウ棚、2階の庭園にも現在関係の出来た千葉大学園芸学部の支援を頂いて名前通り、疲れをいやし、心に安らぎを与えてくれる憩いの場「おあしす」にしてはどうか。</p>	教育長 担当部長
	教育大綱の改定を	<p>今回改定にあたっては、一読して吉川市の教育施策がどういうところに重きを置き、どこがウィークポイントで、これからどのようにしていくのか、そのために市としてどれくらい予算を割いていくのか、が伝わるものにしてはどうか。案として、吉川市の特性・地域性を活かした書き方をするなら、「水の豊かな環境を活かし、田んぼや川に親しみ、環境教育を深める、生き物を大切にすることを養う、吉川の農業に興味を持ち、お米を大切に頂く」「地域によって子どもの人数の違いにより、学習環境に差が出ないように配慮し、それぞれの学校の良さを伸ばす。」「吉川の過去の歴史から水害の怖さを学び、防災意識を高める」「宇宙や天体に興味関心を持つようワンダーランドを最大限に活用する」→そのために市は「良い水質の豊かな水辺になるように環境を整える」「ワンダーランドへの送迎バス・市内巡回バスなどを実現する」他にも、知的向上心が育まれるよう「駅南地区にも図</p>	市長 教育長 担当部長



質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第12号 6番 濱田 美弥	(続) 教育大綱の改定を	書に親しめるよう図書館を設置する」誰にでも学校以外にも様々な学習環境が提供できるよう「不登校の子どもの居場所づくり・制度の整備をすすめる」などというのはいかがが。	市長 教育長 担当部長
	新しい図書館の設置について	駅南地区には図書館がワンダーランドしか無いが、教育委員会としては現在子どもの増えている地域に図書館の設置は必要と考えるか。	教育長 担当部長
通告第13号 1番 遠藤 義法	1. 市民を守る取り組みを防災自治で	<p>全国で記録的な豪雨や台風で甚大な被害が起きています。こうしたなかで自治体の果たす役割、住民が自らの地域と命を守る取り組みが強調されています。市が、実効性のある防災計画策定とハード、ソフト面の事業実施を行うことと合わせて、コミュニティとの協働が求められていると言われていています。市の考えとこれからの取り組みを伺います。</p> <p>(1) 市は、第1排水区・駅周辺の治水対策として中川へ排水することが最善で、国土交通大臣に中川河川改修等の早期の完成を要望してきました。河川改修等の工事が進められておりますが、進捗状況は。</p> <p>早期に対策をとる必要があることから、市から様々な検討してきた経過を伺っております。一つは、木売落し等を活用した雨水貯留施設の整備方針。具体的には木売落しを深く掘り下げる案と二重構造にしての貯留施設造成案。二つ目は、公共施設等、いわゆる公園等の地下を利用する案、三つ目は貯水池を新たに造成する案などです。検討してきた結果、最終的には段階的に整備をすることが可能な、木売落しを二重構造にして貯留する方法が効果的であると判断しました。</p> <p>①木売落しを二重構造にすることですすめてきましたが、進捗状況。補助などを含めて国・県との協議内容、工事費、今後の見通し。</p> <p>②検討してきた各案の貯水能力と工事費、工事に要する計画年数。造成するための問題点と課題、解決が難しい点などについて。</p> <p>(2) 江戸川 吉川地区河川防災ステーションの整備が進められていますが進捗状況は。吉川市が進める水防の拠点とする施設計画について国土交通省との協議内容は。これらの施設では学習拠点と同時に避難場所としての役割を求める声がありますが、市の見解は。</p>	市長 担当部長
	2. 買い物弱者に積極的対応を	買い物弱者対策について6月議会で質問しました。今後フォーラムなど勉強会を開き、その後住民の協力を得て協議体をつくり対策を講じていくとの答弁でした。前提として、買い物弱者であるとの位置づけ、考え方はどのように認識し、吉川市の実態把握は。経済産業省では買い物弱者を応援するために3つの方法を提案し、各省庁で補助等の制度も設	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第13号 1番 遠藤 義法	(続) 2. 買い物弱者に積極的対応を	けられています。①身近な場所に店をつくる。②家まで商品を届ける。③家から出かけやすくする。これらについて市の考えと施策検討の考えは。 吉川団地内のスーパータジマが閉店して8ヵ月、住民のみなさんから店舗再開を望む声が強くなります。団地自治会はUR都市機構への要望書の提出など行ってきました。これまでの市の取り組みと出店についての現況を伺います。	市長 担当部長
	3. 市民の健康を守る施策と医療施設の充実を	市は、市民の健康保持増進と疾病の早期発見・早期治療を掲げて健康診査や保健指導を行っています。健康増進は、最終的には個人の意識と行動の変容にかかっていると捉え、それを支援するための吉川市の具体的な取り組みを推進するとしています。生活習慣病改善についての具体的な取り組みとこの間の成果、今後の計画について伺います。 市民意識調査で、吉川市の住み心地の問いに「わるい」と答えた理由に医療機関をあげている率が38%となっています。吉川美南駅東口周辺地区開発地などに医療ビルを誘致・建設し、その中に各種医療機関に入所していただき市民要望に応えることを提案しましたが、その後の考えは。	市長 担当部長
通告第14号 16番 伊藤 正勝	「市長リーフレット」について	吉川は伸び盛りの地域。基盤を着実に固める中で市民意識の涵養をはかる時でもあります。ハードの建設・開発とともに子どもの笑顔・高齢者の笑顔があふれ、人々がこのまちに住んでよかったと思えるまちにしなければなりません。今回は任期4年の最後の一般質問です。 市長リーフレットが新聞折り込みや各戸配布されています。	
	リーフレット掲載のまちづくり。各事業は	<code>質問1</code> このリーフレットは公の発行物ですか。私的なものですか。確認します。市長は先の3月議会、施政方針演説の冒頭で選挙時のリーフレットに掲げている公約を柱に据え市政を展開するとの考えを強調しています。相互の関係は如何ですか。 <code>質問2</code> 公と私の区分け。区別はどう考えて対応されていますか。リーフレットを現実化する道筋や段取りをどうお考えですか。	市長
		<code>質問3</code> リーフレットの一面には「まちづくりが進んでいる」の見出しとともに7つの事業が写真や図、絵入りで紹介されています。新中学校や東口開発は進行中の事業ですが、農業パーク、総合運動公園、旧庁舎後への福祉拠点づくり、市民農園再整備はまだこれからの事業。構想段階です。ゆめと現実を一緒にした内容で、これから様々な曲折も予想されます。 現職の市長が私的的文章であれ並び立てて、一方的にPRすることではなく、その時期でも	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第14号 16番 伊藤 正勝	(続) リーフレット掲載のまちづくり。各事業は	ないと思いますが如何ですか。進捗にもふれてご説明下さい。 [質問4] 市長キャラバンの位置づけ。その効用について。最近の総合運動公園関連のキャラバンや農業パークを巡るキャラバン等に関連して伺います。参加人数や出席職員の数。次の総合振興計画までのロードマップは如何ですか。	市長 教育長 担当部長
	東口開発に関連して	[質問5] 東口開発について。▽産業ゾーンの企業公募の実状。▽駅前公園の「みんなが集える公園」のプランとスケジュールを伺います。▽商業ゾーンには子育てや文化施設をうたっています。シンボルとなる大型の複合施設を想像していますが、それぞれどんなイメージなのか、旗手事業の演劇を念頭において伺いますか。伺います。	
	演劇事業について	[質問6] 演劇事業は三回目の公演、実績をPRしています。私も入場料1000円を支払い拝見。▽3年間にわたり毎年1千万円前後の公金を投入。3年間の総括と今後の展開。多額の公金を投入する理由について改めて伺います。	
	議会と執行部の関係について	[質問7] 関連して、議会と執行部とのあるべき姿についての見解をお示し下さい。	
	もっと「今」に注力を ▽高齢者対策 ▽子育て支援 ▽貧困対策 ▽パソコン配置についても	時代と向き合う。今を直視する。お金をかけずに住みよい地域社会を目指すことが大切です。旧来型の「箱もの」づくりよりもっと足もとを、今をみつめた施策の展開が求められています。教育・福祉の充実。防災防犯、安心安全の施策です。補正予算等議案質疑でも取り上げてきましたが、ここでは人口100年時代での高齢者対策について。▽認知症と健康長寿を目指すフレイルの対策、取り組みについて伺います。▽子育て支援については幼児教育・保育の無償化にともなう移行は円滑に進んでいるか。▽幼稚園の定員割れと経営課題への取り組みは。▽子どもの貧困対策は意欲的に取り組まれていますか。実情と取り組みを伺います。▽何度か取り上げていますが、児童・生徒に対するパソコンの配置については拡充を急ぐべきです。ご見解を。	市長 教育長 担当部長
	既存施設の活用 規則やルールの全面的見直し	既存の施設の活用について。▽公園や公共の施設について。利用者や市民の声を反映した手直し。用具の設置や整備。▽ルールや規則の思い切った見直しが必要だと思います。例えば公園は仕切りネットを設置し多様な世代の利用を考えては。曜日や時間での使いわけの工夫。各年代向けの運動用具の設置や総点検。植栽。草刈りはゲートボールも考えて。桜の公園（関公園）には関小と直結する横断橋はできないか。交通安全と有効活用の見地で。公民館や老人センターには高齢者の座椅子の配置。公民館は飲食も一部自由に。庁舎	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第14号 16番 伊藤 正勝	(続) 既存施設の活用 規則やルールの全面的見直し	会議室はおあしすと連動して積極的オープン化。旧は一とふる・ぼつとの活用。江戸川、中川に目を向け、ウォーキング、サイクリングコース整備。近隣自治体との協力も必要です。声を聞き目配りし、発想を転換しての居場所づくり。サービス精神を発揮し、こどもの笑顔、高齢者の笑顔があふれるまちに。すみやかに一歩踏み出すことはできませんか。	市長 教育長 担当部長
	県政との連動について	埼玉県の大野新知事は▽人生100年プロジェクト▽共生社会プロジェクトなど5つを柱と行政のIT(情報技術)化等の施策をすすめることを明らかにしています。県政との連動についての吉川市の考え、取り組み、方針についても伺います。	市長 教育長 担当部長
通告第15号 2番 雪田 きよみ	1. 災害に強いまちづくりを	近年、地球温暖化の影響で自然災害の深刻さは増す一方です。吉川市でも台風19号では大雨洪水暴風警報に次いで、一部の地域に避難勧告が発令されました。800名弱の方が、指定避難所や福祉避難所に非難されたと聞いています。 川に囲まれた吉川市では、今後深刻な水害に見舞われる可能性を否定することができません。万が一の災害に対して、更なる災害対策の強化が求められています。 ①地域住民を中心に避難所を開設せざるを得ない状況も想定されるのではないかと考えます。そのためには「避難所開設訓練」が有効と考えますが、見解をお聞かせください。 ②避難所となっている施設では、防災倉庫が1階に置かれています。倉庫内の荷物を上階にあげるタイミングについて、見解をお聞かせください。 ③指定避難所が水害により孤立してしまった場合の対策・対応を教えてください。 ④暴風雨の中で、防災無線は全く聞こえなかったという声を多く聞いています。また外国人向けの情報がなく、非常に不安だったという声も聞いています。「情報共有」という点で課題があると感じていますが、見解をお聞かせください。 ⑤10月末の豪雨では、子どもたちを下校させるタイミングと安全確保について、各学校の校長先生方がかなり悩んだというお話を伺いました。市の見解を教えてください。	市長 担当部長
	2. 不登校児童生徒の居場所づくりを	10月27日、不登校の子どもの居場所をつくる会の皆さんにより、栃木県高根沢町の「ひよこの家」視察報告会が開催され、市長をはじめ複数の職員の皆さんが出席されました。 ①平成29年度の不登校児童生徒数は小学校12名・中学校69名で計81名、平成30年度は小学校14名・中学校28名で計42名。適応指導教室「宙」に通う児童生徒は7名、フリースクールに通う児童生徒が13名。どこにも通っていない児童生徒は9名と、9月議会文教福祉常任委員会で報告されました。 こうした状況を市はどのように認識されていますか。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第15号 2番 雪田 きよみ	(続) 2. 不登校児童生徒の居場所づくりを	②「宙」を表面的な学校復帰を目指す場としてではなく、不登校の児童生徒のありのままを受け入れる場として位置付けていただきたいと考えます。見解はいかがでしょうか。 ③適応指導教室「宙」を、不登校の子どもたちの多様なニーズにこたえられるよう、施設設備の見直しをしていただきたいと考えています。見解をお聞かせください。 ④「宙」がより多くの不登校児童生徒に利用される場となるよう、当事者やその保護者・専門家等を交えて「運営委員会」を立ち上げてはいかがかと考えます。見解をお聞かせください。	市長 教育長 担当部長
	3. 乳がんで苦しむ女性を減らすために	女性の罹るがんのトップは乳がんです。他のがんと比べ、比較的若い世代から注意を必要とするがんです。昨年国立がんセンターは、AYA世代(思春期と若い成人)のがんについて種類別の罹患率を発表しましたが、30代女性では乳がんが最多でした。 ①乳がん検診は30歳からを対象とするべきと考えます。見解をお聞かせください。 ②超音波検査の導入について、考えをお聞かせください。 ③マンモグラフィーでは乳がんを発見しにくい高濃度乳腺について、平成28年9月議会で「お知らせが必要」「結果通知内容の見直しに向け、現在準備を進めている」と答弁されましたが、未だに実施されていません。今後の見通しをお聞かせください。	市長 担当部長
通告第16号 20番 稲葉 剛治	誰もがありのまま自分らしく いられる吉川市に	・現在、公園再生プロジェクトが進んでいます。そうした中、障害の有無にかかわらず全ての子どもたちが安全に楽しむことができるインクルーシブ公園の整備について見解を伺う。 ・おあしす等を活用した多様性を知る機会の拡充について見解を伺う	市長 教育長 担当部長
	学校の教育環境について	学校トイレの洋式化について ・2016年から現在の各校舎トイレ洋式化率の推移について ・栄小学校、旭小学校のトイレ洋式化はいつになるのか伺う	市長 教育長 担当部長
	コミュニケーションのバリア フリー化について	1 窓口支援について ・手話(遠隔手話通訳)の導入について見解を伺う ・筆談(UD手書き)の導入について見解を伺う ・音声認識(UDトーク)の導入について見解を伺う 2 電話リレーサービス導入について見解を伺う	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第16号 20番 稲葉 剛治	産業振興について	エフビズの導入について	市長 教育長 担当部長
	重大事態に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめと認定するまでの経緯</li> <li>・初動の対応は適切だったか</li> <li>・学校、教育委員会、市の情報共有は適切に行われていたか</li> <li>・何をもっていじめ解消とするか</li> <li>・経過観察をどのような体制で行ったか。欠席日数の経過、面談は行ったのか？記録は残しているか</li> <li>・加害者に対してどのような指導、支援を行ったのか。また指導、支援した範囲は？</li> <li>・中学校区における小中学校の連携が必要であると考え、具体的にあった取り組みがあれば伺う。</li> <li>・重大事態発生後の取り組みについて</li> </ul>	市長 教育長 担当部長
通告第17号 10番 妹尾 百合子	プログラミング教育について	<p>予測困難な現代社会において、変化を受け身で捉えるのではなく、前向きに受け止め、主体的に向き合い・関わり合い、自らの可能性を發揮していく力が求められる。「論理的思考力」「自発的な学習能力」「問題解決力」を育むために、新学習指導要領にはプログラミング教育が盛り込まれ、2020年度に小学校で開始される。</p> <p>そこで以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校では、文字入力など基本的な操作を習得、プログラミング的思考を育成する事がポイントになるとの事だが、具体的にどのように指導していくのか。</li> <li>・指導していく教師への支援はどのように行っていくのか。</li> <li>・市民ボランティアなどの活用は考えているか。</li> <li>・成績の付け方や宿題などの対応はどのようにする予定か。</li> <li>・プログラミング教育の実現に伴い、カリキュラム・マネジメントが重要となるが、教育委員会としてどのような支援をする予定か。</li> </ul>	市長 担当部長
	教育現場における ICT 環境について	<p>プログラミング教育の実施や ICT 教育の展開にあたり、教育現場におけるパソコンやタブレットの設備、wi-fi などの通信環境の準備は整っているか。家庭や校外において学習する場合、校外にもこのような準備が必要と考える。今後の予定も含めて伺う。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第17号 10番 妹尾 百合子	産業振興条例について	平成30年4月から施行された産業振興条例について、これまでの成果と今後の展開について伺う。 ・起業、創業を推進する環境の整備について ・人材マッチングの推進について	市長 担当部長
通告第18号 9番 林 美希	多様な働き方推進について	①テレワーク推進についてこれまでの取り組みと今後の展望は ②起業支援に対する市の考えと今後の展望は	市長 教育長 担当部長
	公立小中学校について	①長期休業期間短縮の検討の経緯について詳細を伺う ②コミュニティスクールの研究の進捗を伺う	市長 教育長 担当部長
	子育て支援について	①病児病後児保育の利便性向上のため改善されたことと今後の展望は ②学童の質向上を目的に実施した内容と今後の展望は ③類似幼稚園に通う幼児が幼保無償化の狭間にいるが見解と対応は	市長 教育長 担当部長
	住民自治について	「地域課題を地域で解決する」勉強会についてこれまでの取り組みと来年度以降の展望は	市長 教育長 担当部長
	共生社会の実現に向けて	①今年度の男女共同参画事業の内容は ②より幅広い共生社会を目指し、担当部署の名称変更を検討しては	市長 教育長 担当部長
	協働のまちづくり	第6次吉川市総合振興計画の策定における市民参加の手法の研究状況は	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第19号 19番 戸田 馨	吉川駅前の環境整備について	・ムクドリ対策/防犯灯の撤去・新設についての現状の認識、及びこれからの展望について	市長 担当部長
	障害者福祉について	・「障害者の地域での生活を考える検討会議」のここまでの内容と行政側としての認識、評価、今後の展望について ・「手話言語条例」制定後の今後の展開について	市長 担当部長
	演劇事業について	・第3回目の演劇公演、3年間の振り返った所感、今後の方向性	市長 教育長 担当部長
	水道事業について	・給水量に占める県水と井戸水の割合についての今後の方向性 ・吉川市水道ビジョン（経営戦略）について、水道運営委員会を踏まえた市の公式見解（方向性） ・水道イベント、県水ポンプアップ事業、浄水場見学等、市民参加型事業開催における成果や課題 ・給水収益の考え方について（節水機器の普及、人口減少等の影響を踏まえた）	市長 担当部長
	市内の農業振興について	・なまずサミット、ねぎサミット、下内川のパンパイヤづくりにおける「市民と行政の連携」についての考え方は	市長 担当部長
	北朝鮮拉致被害者を救うための活動について	・子供達が知らない現状の中で、人権教育を進めていく上での今後の展開について	市長 教育長 担当部長
	市の危機管理体制について	・台風19号への対応と新たに見つかった課題、及び「第4回減災プロジェクト in 中曽根小学校区」の総括と今後について	市長 担当部長
	ICTについての認識と今後の展開について	・総合教育会議を踏まえた、「ICT教育」に対する今後の考え方について	市長 教育長 担当部長